

<「ケムトレイル（Chemtrails）とは何か？」>

◇「ケムトレイル」の目的は？誰が何のためにやっているのか？

本来、飛行機雲は通常1万m以上（米軍の定義。8km以上、6km以上など諸説あり。）の高空で航空機のエンジン排気が冷やされて氷結することで発生し、発生後約30秒から長くても約2分程度で消滅するのです。しかし「ケムトレイル」は1万m以下で散布されてもすぐには消滅しないものが多く、逆に拡散していきやすいのです。

ケムトレイルは一度に複数の「化学物質」を合わせて散布するものである。その主な内容物としては、アルミニウム、バリウム、マグネシウム、「ポリマー」と称される極小繊維などが検出されています。

その他には炭素、鉛、鉄、銀、塩素、硫黄、酸素、ケイ素、ヒ素、クロム、カドミウム、セレンウム、ニッケル、カルシウム、臭化エチレン、放射性トリウム、各種細菌、インフルエンザなどのウィルス、乾燥赤血球、カビ胞子、黄色カビマイコトキシン、ファイバーグラス、ナノクラップ（超小型センサー）等が報告されています。これらはいずれも、人間をはじめとした生命体にとって有害な物質です。

また散布する目的により、これら構成物の組み合わせ方や濃度の変更されていることも推測されます。

ある情報によると「ケムトレイル」とは別に、「温暖化を食い止める手段」として意図的に二酸化硫黄をジェット燃料の添加剤に混入させ、通常の商業飛行に使用しているとのこと。

この二酸化硫黄は酸性雨の原因となる物質です。

<ケムトレイルを散布する目的>

○推測されている真の目的

- ・ 散布したポリマーが大気中の水分を吸収することで人工の雲が発生する。これにより日光を遮蔽すると同時に降雨量が減少する。つまり、「雲は多いが大気が乾燥し、雨が降らない」状況を作る。この結果、意図的に特定地域、国家に干ばつ及び農作物の不作状況を人工的に引き起こす。
- ・ 様々な有害物質、細菌、ウィルスを散布することにより、人体に障害、疾病を発生させ、時には死に至らしめる。同時に製薬産業の利益増加に寄与する。生物兵器の実験も行われている。
- ・ 電磁媒体（複数種の金属粉）を散布することにより、気象操作、人工地震などの多目的兵器として開発されたHAARP（ハーブ）が発する電磁波の効果を上げる。つまりケムトレイルとHAARPのセットで気象操作や人工地震等の目的遂行をより確実なものとする。
- ・ バリウムを散布することにより、地上画像をレーダーで捉えやすくして、住民監視や軍事偵察に利用する。（胃カメラ撮影時に造影剤としてバリウムを飲むのと同じ原理。）

<誰がやっている？>

「ケムトレイル散布」を実行させているのは、米軍を支配する欧米の支配層（金貸し）であることは間違いないです。その影の陰謀者たちは、のちに明らかにします。

目的は、気候操作・ウィルス散布・電磁操作・監視というあたりにありそうだ。人々をマスコミ操作で、CO2温暖化や花粉症やタバコの害など細かい害に注目させておいて、より大きな操作をしていることです。

いったい、彼らのせいでどれだけ地球環境が悪化しているのだろうか？考えたことがありますか？

あなたの知らない世界が、裏で実行されているのです。そのことを日本の政府も承知していることです。

いま日本で流行しているといわれる「インフルエンザ」も意図的に「インフルエンザウイルス」が散布されているといわれます。日本の上空にも「ケムトレイル散布」は行われています。